

KOBE YMCA NEWS



神戸青年

No.648

2017. 1・2

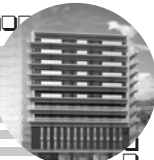
Jan・Feb

発行所 日本YMCA同盟 東京都新宿区本塩町7
THE YMCA神戸版 発行人/井上 真二 編集人/田村 光
神戸YMCA 〒650-0001 神戸市中央区加納町2-7-15
TEL. 078-241-7201 FAX. 078-241-7479
URL <http://www.kobeymca.org> 印刷/わかばやし印刷

神戸YMCA
年間聖句

「平和な人には未来がある」
(詩篇37編37節)

神戸YMCA三宮会館オープンに向けて 「神戸YMCAランゲージセンター」



こども英会話 (ペンギンクラス)

新三宮会館で行われる活動をご紹介しますが、最後は「ランゲージセンター」を紹介いたします。YMCAの活動として長い歴史をもつ語学教育ですが、近年は社会状況によって大きく変わってきています。多くの語学教室が乱立する中で、神戸YMCAランゲージセンターは以下のような活動をおこなっています。

英会話事業では、幼児(3歳児)～小学生を対象にこども英会話クラスを展開しています。小学校で英語が科目となり、需要が高まっているなかで、こどもたちに英語の楽しさを伝えることを主な目的としています。クラスでは、国際活動の視点から外国人講師がレッスンをを行います。歌やゲーム等の様々なアクティビティを通して、言葉としての英語に親しむクラスです。国際色豊かな先生が、こども達一人ひとりのペースや個性を大切にしながら、コミュニケーションを通して、英語に自然と慣れる事から始め、「読む」「書く」事にも挑戦していきます。ハロウィンやクリスマスでは、海外文化に積極的に関わり楽しもうとしている子ども達の姿を見ることができます。そして、小学校の英語活動にスムーズにつながっていきます。



にほんご会話クラス

また、ランゲージセンターでは、神戸在住の定住外国人を対象とした日本語クラスも開講しています。むしろ、現在はこの日本語クラスの必要性が高まっている、といえるかもしれません。外国人比率が高い神戸市では、地域外国人と共存することが大切になってきています。

この日本語クラスは、生活に必要な日本語力の習得を目的としています。初めて日本語を学ぶ人のクラスから、日常生活がスムーズに行える日本語レベルまでを学ぶことができます。クラスには、多国籍であることのみならず、多種多様な目的で日本に滞在している方々が一緒に勉強に励んでいます。例えば、家族で滞在している人、日本人配偶者、ワーキングホリデーや宗教活動のような方々が学んでいます。日本語会話クラスで勉強した後、日常生活に役立たせることはもちろんですが、仕事を始めたり、日本語学科へ進学したりと、学習後の道も様々です。



こども英会話 (ハロウィン)

今後は、日本語を学ぶ定住者や留学生と、英語を学ぶこども達や日本人学生が、それぞれの語学活動や交流会を通して、互いに理解を深めることができる多文化活動を展開していきたいと考えています。

新会館 工事進捗状況

完成まで3ヶ月をきりました。外回りの工事が終了して、年内には足場の解体が終了する予定です。一部足場がなくなり、新会館の外壁が見えてきました。1月からは、内装と外周の工事が中心になってきます。



神戸YMCA
会長 中道 基夫



総主事 井上 真二

YMCAブランドコンセプト ～私たちと社会の約束～

皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、国内外のトップリーダーの交替がなされ、政治経済共に大きな変動が予想される新年の幕開けとなりました。さらに世の中が混沌とし、子どもたちや若者が置かれる状況も憂慮される厳しい環境がありますが、社会や家庭の中に希望の光を示すために、中期計画2年目の活動を進めていきます。このような私たちの歩みを社会に伝え、多くの人をYMCA運動に招くために日本全国のYMCAで取り組んでいるブランディングのなかでブランドコンセプトが発表されました。この取り組みは、YMCA(私たち)は何者なのかをもう一度見直し、これからどこを目指して活動していくのかを全体で確認するもので、コンセプトは次の3つの項目によって定義されます。

Vision (YMCAが実現したい世の中の姿)

「互いを認め合い、高め合う『ポジティブネット』のある豊かな社会を創る」

Value (YMCAがステークホルダーに提供を約束する価値)

「したい何かがみつかり、誰かとつながる、私ができる、かけがえない場所」

Personality (ブランドとして備えているべき個性、らしさ)

「心をひらき、わかち合う。前向きで、まわりを惹きつける魅力を持つ」

Visionにある「ポジティブネット」は今回のブランドコンセプトをまとめるために新しく作られた言葉です。これまで曖昧だった「YMCAらしさ」を私たちが同じ表現で語れるようになることで、まだYMCAをよく知らない人たちに対して私たちが大切にしている価値を伝えていきたいと思えます。そのためにはこのコンセプトをしっかりと咀嚼し、理解し、現在行っている事業やプログラムに明確な方向性を示す道標としていく必要があります。ブランディングの取り組みはこれからが本番です。このコンセプトを元に皆さんと協議をし、ポジティブネットのある豊かな社会を創りだすYMCAとして多様な社会問題の解決にチャレンジしていきましょう。

本年も皆様のご参加とご支援、またご指導をお願い申し上げます。

第19回 チャリティーラン2016が行われました



YMCA International Charity Run

快晴のもと、「第19回神戸YMCA国際チャリティラン2016」を笑顔で終える事が出来ました。

「あなたが走るとハッピーになる子どもたちが増えます。」をキャッチフレーズにランナーも笑顔でハッピーなひと時を共有する事ができました。

1/10マラソン、小学生駅伝、グループラン、1/100マラソンと参加者の皆様がそれぞれに合わせた種目に参加いただき、多くの力とお支え、

力走と勇気を発信してくれました。

多くの協賛企業、協力団体のお力添えで、表彰式・ラッフル抽選会では、メダル、賞品、景品等をたくさんの方々にお届けすることができ、ここでも多くの笑顔を見ることができました。

来年は、20回記念大会となります。皆様と「笑顔と勇気」を発信出来るよう、神戸YMCA一丸となって前進していきます。

ご支援、ご協力いただき、心より感謝いたします。ありがとうございました。

出場者<小学生駅伝・88チーム(352名)、グループラン・105チーム(471名)
1/10マラソン(54名)、1/100マラソン(57名)> 計934名のランナー

幼稚園

「親子交流会」
～ YMCAちとせ保育ルーム ～

YMCAちとせ保育ルームでは、毎年10月に親子交流会を計画しています。今年も天候に恵まれ、いつもお散歩に行っている公園へお家の方々と一緒に遊びに行くことができました。

保育ルームから公園までの道は、約500m(子どもたちの足で10分～15分)ほどの、子どもたちにとっては慣れ親しんだコースなのでいつもと同じように歩いていたのですが、その姿が保護者の方々には新鮮だったようで、「普段は抱っこかベビーカーばかりで、この距離を自分で歩けるなんて信じられないです!」と嬉しい驚きの声もありました。



公園ではまず、わらべうたを楽しみました。普段は保育者と一緒に行っている遊びを、お父さんやお母さんと一緒に行っている時の子どもたちの顔は、いつもに増して嬉しそうでした。又、大好きな電車ごっこでは電車に乗って運転手になりきる子どもたち。早速お家の方を乗せて出発すると橋に見立てたダンボールの道の上を通ったり、一緒に参加してくれたお兄ちゃんお姉ちゃんたちが踏み切りやトンネルになってくれて、それをくぐったりと大好きな電車ごっこを思う存分楽しみました。

たくさん遊んだ後は、この日一番楽しみにしていたお弁当。お家の方が心を込めて作ってくださったお弁当を頂き、その後はどんぐりを拾ったり、普段はなかなかお会いすることのない保護者同士でお話しをする時間をもって有意義な時間となりました。気持ちの良い秋のひと時、子どもたちにとっても保護者の皆様にとっても楽しい一日になったようです。



保育園



全国YMCA教育・保育の要領改訂!
～ 神戸YMCA福祉会 ～

2019年に、日本の幼児教育・保育の根幹であります、教育要領、保育指針、教育・保育要領が変更されます。全国YMCA認可幼稚園、こども園、保育園の42施設の使命、理念の改訂作業も昨年より開始され、10月に各代表が名古屋に集められました。(写真)



地域性を重視することは勿論ですが、全国のYMCAの幼稚園、保育園、認定こども園の理念使命、目標を再統一し、「神様に与えられた子どもたちが、子どもらしく育ち、生きる力を育むため」に全国共通の改訂をすすめ、今後は、オールジャパンYMCAで更に子どもの育ちを守り、育てていきたいと考えています。

10月21日に行われた全国会議では、西宮YMCA保育園の上杉先生、YMCA保育園の井奥先生、西神戸YMCA保育園の村上先生が神戸の代表として議論いたしました。今後、幼稚園、認定こども園の職員とも議論し、また学童保育クラブもあわせて、2019年から2020年に向けて作業をすすめていきます。

コミュニティーサービスセンター

指定管理施設「垂水体育館」



垂水体育館は、1975年に設立され、今まで地域のコミュニティとしてみなさまにご利用いただいております。神戸YMCAは、2003年度から委託事業として管理・運営を行い、2006年度からは指定管理者として管理・運営しています。

垂水体育館では、通常、貸室業務、主催教室運営、スポーツイベントの実施、地域への出張指導を行っています。主催教室は、通常で17の教室を運営・管理しております。年間3期で教室を実施していますが、毎回好評いただき定員いっぱいとなる教室がほとんどです。特に垂水の地域では、多くのシニア世代の方にご利用いただいております。

また、垂水は総合型地域スポーツクラブの活動が神戸の中でもさかんな地域です。総合型地域スポーツクラブは各小学校を拠点とした子供から高齢者まで幅広い世代がスポーツ・文化活動を楽しむ地域スポーツクラブで、運営はスポーツ推進委員、青少年育成協議会等様々な地域の住民によって自主的・自立的に行われています。地区体育館の大きな役割としてこの地域スポーツクラブの活動の支援があります。

地域スポーツクラブが全体として交流大会を行うとともに、各クラブでも主催イベントがさかんに行われています。体育館では、大会のサポート、イベントへの協力等を通して、地域スポーツの振興という役を担っています。

今後も地域に密着した活動を展開していき、地域に必要とされる存在でありたいと思っています。

学童保育

「昔あそび教室」
～ 太山寺児童館 ～

太山寺児童館には、第3金曜日3:30～4:30「昔あそび教室」を行っています。地域の長寿会の方々が児童館に来てくださり、中庭ではけん玉やコマを、図書室では、折り紙工作を行っています。子どもたちは、長寿会の方が来られると、「今日は昔あそび教室なの?」と喜び、コマを片手に中庭に集まります。最初はコマを回せなかった子どもたちも、長寿会の方々に持ち方から、コマひもの結び方など教えてくださり、今では、1年生も上手に回せるようになってきました。また折り紙工作では、鶴や手裏剣、紙飛行機など毎月さまざまな折り方に挑戦しています。時には、自然の中で竹を使って、親子で竹馬や竹ぼっくりを作ることに挑戦しました。児童館を利用する子どもたちに、いつもいろんなことを教えてくださる長寿会のみなさんのお誕生会があり、学童保育クラブの子どもたちをも誘ってくださいます。子どもたちはいつものお礼も兼ねて、パネルシアター「大きなかぶ」を披露し、お祝いのメッセージをお伝えしました。子どもたちも1ヶ月前から練習をし、本番終了後はたくさんの拍手をいただき、とても嬉しそうな顔がありました。太山寺児童館では、地域のみなさんに協力をいただき、子どもたちの遊びの輪が広がっています。改めて地域のみなさんに感謝いたします。



感謝・寄付

新会館建築募金 (前号掲載以降～11/30現在)
感謝をもってご報告します。(敬称略、順不同)

- 野田 彩未、名田 敦子、東 恭子、小野 勲紘、宗行 孝之介、谷 紳一・貴子、大田 厚三郎、岩井 正好、大谷 弘子、吉原 尚美、三木 喬夫、岡本 佳子、富川 和彦、宮地 京子、坂本 庸秀、才川 一美、三輪 武、熊谷 親啓、本城 智子、武内 興喜子、許 宏美、柴田 美代子、塚本 哲夫、米田 俊久、谷保 康子、小田 浩、山形 謙二、芝川 英美子、福井 幸男、井手 久代、寺井 智子、草野 修、阿部 俊、小川 光夫、中道 基夫、中道 京子、匿名の方11名

★★★ 個人消息 ★★★

- <お誕生> おめでとうございます。
11月15日 山本亮司さん<キャンピングサービスセンター> 次男 山本快成(かいせい)くん
- <ご結婚> おめでとうございます。
11月7日 鍛冶綾子さん<西宮YMCA西部療育センター> 中邨大輔さんと

「ブランディング」への取り組みNo.3

日本YMCA大会からのブランディング

「したい何かがみつき、誰かとつながる、私ができる、かけがえのない場所」



2016年10月8～10日、「ユースエンパワメントを加速する～私たちの活動が社会を変える～」をテーマに第19回YMCA大会が開催されました。全国のYMCAから311名が集まり、内ユース(15～35歳)が約160名となりました。今大会では、ユース・シニアの世代別グループをつくりユースエンパワメントへの理解と実現について話し合いを重ねました。今後オールジャパンYMCAでブランディングを進めていくにあたり、「ユースエンパワメントを実現するために私にできること」を世代別で考えた結果、以下のようになりました。

ユース 挑戦することに自信のない私が、YMCAの仲間とつながり、YMCA活動を通して社会の課題をみつけ、私も困っている人もよくなるように取り組みたい。

シニア 社会をよくするためにユースの声に耳を傾け(つながり)、彼らの声が社会に届くように愛をもって応援していきたい(みつかる)。

ユースエンパワメントの捉え方はユースとシニアでは見る視点が違いますが、同じ方向を向いていることを確認できました。ブランドコンセプトの1つであるブランドバリューで示されている通り、YMCAを通じて、「みつかる」「つながる」「よくなる」そのような個々の変革の先に、社会をよくするポジティブネットが広がることを願っています。

2016年度東日本大震災避難者交流会

10月23日、神戸YMCA・神戸市社会福祉協議会・コープこうべ共催で第4回避難者交流会をみずほ農園(エコファーム)で開催しました。14家族41名の参加がありました。

芋ほりや椎茸狩り、情報交換をしたりして交流の機会を楽しみました。最初は少し照れていた子どもたちも、時間が経つとともに追いかけてこやひつつき虫飛ばしなど芝生広場いっぱい駆け回りました。今回は神戸YMCA学院専門学校ホテル学科の学生4名も運営スタッフとして加わりました。

避難から定住を、また避難から帰還されるご家族のお一人おひとりに健やかな秋の一日を過ごしていただきました。

(この活動は神戸市パートナーシップ活動助成を受けています)



YMCAセミナー2016

いま、そしてこれからのYMCA ～非常時のYMCAの活動から～

神戸YMCAの創立130周年を記念するYMCAセミナーが11月26日(土)に日本基督教団神戸教会にて開催され、60名の参加者が与えられました。



非常時のYMCAの働きから、これからのYMCAのありようを問う内容のセミナーで、熊本YMCAから神保勝己さんと丸目陽子さんを、そして神奈川教区巡回牧師であり、青山学院大学名誉教授でもある関田寛雄先生と、ミッション委員であり関西学院教員のジェフリー・メンセンディークさんをお迎えしました。

熊本地震復興支援活動に関する報告では、本当にYMCAが避難所運営をすべきだったのかは答えが出ないが、困難な状況にある人々を前にして、なすべきことを判断したというお話がありました。そして全国のYMCAやワイズメンズクラブ、NPOや地域の方々の協力に心よりの感謝が伝えられました。報告の後、10月22日に学園都市会館で行われたワイワイまつりの益金から¥82,460をYMCA熊本地震復興支援募金として手渡しました。

最後に関田先生のオープニングメッセージからの一文を添えてご報告いたします。

「どうか、このYMCAにおける三つのSpirit, Mind, Bodyが、どんなにか深くイエスの福音の器として用いられ、約束されているかということ、もう一度考えて、心にとどめておきたいという風に思い

大きなことをする必要はありません。小さなことに、大きな愛をこめて、いいのです。



ます。お互いに小さな事実(アクション)をつくってゆく。それが歴史をつくるということになると思います。」

主催：神戸キリスト教青年会
ミッション委員会



「ホテル学科海外YMCA実習」
神戸YMCA学院専門学校ホテル学科では、2年間の学校生活の中で、合計3回の長期企業実習に参加します。この長期実習先として海外のYMCAを選ぶことも可能で、北米(ロッキーマウンテンYMCA、ブルリッジYMCA)、アジア(香港中華YMCA、香港ハーバービューホテル、シンガポール・メトロポリタンYMCA)などが学生を受け入れてくださり、素晴らしい学びの場を与えていただきました。

2016年度は、神戸YMCA学院専門学校ホテル学科の2年生が2名、北米屈指のキャンプ場であるフロストバレーYMCAサマーキャンプ(Tokyo Frost Valley YMCA Partnership)に、グループ・カウンセラーとして参加しました。

フロストバレーYMCAでのプログラムに参加させていただくのは、今回が初めて、当初いくつか不安な要素がありました。

まず、期間が6月中旬～8月末までのため、前期授業が終了する前に渡米が必要なこと、そしてホテル学科の学生はホスピタリティ産業に従事するためのトレーニングを受けていますが、野外活動の経験に乏しく、キャンプリーダーやグループカウンセラーの経験は皆無に近いこと。

しかし応募してきた学生たち(津田楓子、真利祐太)の熱意と、様々な方々のお支えをいただいで、危惧や問題はクリアされていき、2名はフロストバレーに旅立ち、「予想もしなかった、最高の2ヶ月半を過ごした(津田楓子)」とのこと。

二人の報告を聞いた下級生からも、キャンプに興味を持ち、フロストバレーでのプログラムに参加したいと希望する学生が出てきました。絆が繋がっていくことを、心から嬉しく思っています。

以下、実習を終えた二人の感想です。
「この夏は今までで一番大切に充実した夏でした。この経験のない今の自分が考えられないほどです。この様な貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。」(真利祐太)

「この2ヶ月半は私にとって一番成長できた夏だったと思います。こんなにもすてきな仲間と出会い、経験をすることができ一生の宝物です。」(津田楓子)



| | |
|------------------------------|---------------|
| ファミリーウエルネスセンター | ☎078(241)7202 |
| YMCAホームヘルパーの事務所 | ☎078(241)7237 |
| ランゲージセンター | ☎078(241)7204 |
| 専門学校 | ☎078(241)7203 |
| 西宮YMCA | ☎0798(35)5987 |
| 三田YMCA | ☎079(559)0075 |
| 余島野外活動センター | ☎0879(62)2241 |
| デイキャンプ&コミュニティーサービス(兼キャンプ事務局) | ☎078(241)7216 |
| 国際・奉仕センター | ☎078(241)7204 |
| ウエルネスセンター学園都市 | ☎078(793)7401 |
| 西神戸YMCA | ☎078(793)7402 |



Information

| | |
|----------------|---------------|
| YMCAおひさま | ☎078(793)9077 |
| 西神南YMCA | ☎078(993)1560 |
| 須磨YMCA | ☎078(734)0183 |
| YMCA保育園 | ☎078(794)3901 |
| 西宮YMCA保育園 | ☎0798(35)5992 |
| 西神戸YMCA保育園 | ☎078(792)1011 |
| 神戸学園都市YMCAこども園 | ☎078(791)2955 |
| YMCAちとせ幼稚園 | ☎078(732)3542 |
| ちとせ保育ルーム | ☎078(732)3542 |
| 西神戸YMCA幼稚園 | ☎078(997)7705 |
| 西宮つとがわYMCA保育園 | ☎0798(26)1016 |

ファミリーウエルネスセンターニュース 「クリスマスツリーの点灯式!!」



11月27日にアドベントを迎え、翌28日にファミリーウエルネスセンターにてクリスマスツリーの点灯式を行いました。点灯式では成人メンバー爲實紗和さんのサクソ演奏と、スタッフの志水親子のピアノとバイオリン演奏に合わせて讃美歌を歌ったり、ミニコンサートを聞いたり、ツリーに飾り付けをしたり、短い時間でしたが楽しいひと時となりました。

また、11月30日には日本基督教団 神戸聖愛教会の小栗献牧師よりクリスマスについて理解を深めるスタッフ研修をしていただきました。特に印象に残ったのは、「クリスマスの主役は子どもたちである」「子どもたちに平和への願いや希望を伝え育てていくのがクリスマスである」というメッセージでした。クリスマスの理解を深めることのできたひと時でした。



西神戸YMCA ワイワイまつり

10月22日に西神戸YMCA会館にて第17回ワイワイまつりが開催されました。

当日は約1,800名の地域の方がYMCAに集い、楽しいひと時を過ごしました。

収益金(¥622,288)は国際協力募金、災害被災地支援、地域活動にあてさせていただきます。

皆様のご協力に感謝いたします。



第34回西宮Yわいカーニバル



10月23日(日)に西宮地域で『第34回西宮Yわいカーニバル』が実施されました。暖かな天候に恵まれ、奉仕者やメンバー、園児、地域の皆様が700人以上参加され、素晴らしいカーニバルとなりました。カーニバルの収益金は、国際協力募金、国内災害支援、障がいを持った方への支援、地域プログラム支援に捧げます。

西神戸YMCAキッズプレイランドファミリー例会

11月5日に西神戸YMCAで2歳児対象の保育プログラム「キッズプレイランド」で須磨にある天井川にてファミリープログラムを行いました。

天気にも恵まれ、9組の家族が参加して焼きイモ作りをしました。家族一緒に枝や落ち葉を集め、火をおこし、時間をかけて作った焼きイモはホクホクでほっぺたが落ちるほどおいしくできあがり、休日のひと時、ほのぼのとゆったりとした時間の流れを感じる1日でした。



太山寺児童館幼児の応急処置講座



12月14~16日に太山寺児童館すこやかクラブの保護者を対象に乳幼児の応急処置講座を行いました。実際の緊急時、冷静に判断をし、動けることが出来るように日々、意識することの大切さを改めて学ぶ機会となりました。



YMCA奨学金受給者決定

神戸YMCA奨学金は、日本語学科で長く講師をされていた方のご友人の寄附により設けられた奨学金です。また、神戸YMCA国際奨学金は国際協力募金から設けられた奨学金です。この度、10名の学生が受給者として選出されました。彼らは勉学に励んでいるだけでなく、YMCA活動にも積極的に取り組んでいます。これからの活躍に期待しています。



(YMCA奨学金:6名、国際奨学金:4名)

2016年度 YYフォーラム

日程: 2017年1月28日(土)

時間: 13:00~17:00

場所: 神戸栄光教会
神戸市中央区下山手通4-16-1

テーマ: 昨年に引き続き、「ブランディング」をテーマに、今年発表された、ブランディングコンセプトを紐解きましょう!そしてこれからのYMCAのビジョンを語り合しましょう!

問合せ: YYフォーラム実行委員会
(ユースプラザKOB E・EAST内)
078-891-8222まで

